

保護者や地域と共に創る「笑顔の花広ぐ相知小 ONE TEAM」

真をもって学び、笑顔でつながり、未来を創る子どもの育成

～おちついて うでくんで ちえを出し合う 相知っ子～ 「にこ・きび・はき・どん」



この指とまれ!

唐津市立 相知小学校
学校だより No. 4
令和8年7月3日発行
文責：校長 佐伯美和



右上のQRコードを読み取っていただくと相知小学校ホームページからもご覧いただけます。



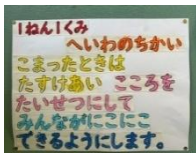
7月に入りました。ついこの間令和8年度が始まったかと思ったら、あと2週間で1学期が終わろうとしています。みなさんにとって、どんな1学期だったでしょう

6月14日の教育の日では、たくさんのご参観をいただき、ありがとうございました。5月の参観日から1か月が経った頃の参観日でしたが、一日一日と成長している子どもたち…ご家庭では見られない、新たな発見があったのではないのでしょうか。



この日の3・4時間目、今年度は「平和集会」をご参観いただきました。代表委員会で子どもたちが話し合いながら立てた計画に沿って行ったものです。全校で取り組んだ「一つの花」の朗読劇では、しっとり、反面、平和に対する強い思いをこめて、一生懸命表現している姿が印象的でした。また、平和宣言では、クラスごとで、平和について学習したことを基に、平和のために大切な言動について話し合ったことを宣言しました。

この宣言をしたことがゴールではありません。ここから新たなスタートです。宣言したことを意識しながら、言動に繋げていくことを期待します。



その後、「遺族会」による出征兵士と、それを見送る家族をテーマにした朗読劇を観ました。これは、ちょうど



その日の2週間ほど前に、相知町内の戦没者慰霊祭が行われた際に披露された朗読劇です。その朗読劇を観て「これは子どもたちにも観せなければ…!!」と思って、遺族会に相談したところ、快く受け入れてくださって実現できたものです。当事者による直接の言葉は重く、その方々の迫真の演技は、子どもたちの心を動かしました。

平和を実現するには、問題は言葉で、つまり、コミュニケーションをしっかりとって解決すること、相手のこ

とをきちんと理解すること、そのためには相手の声にしっかりと耳を傾けること、違いを受け入れること、こういったことが大切です。まずは、私たち大人が子どもたちにその姿を見せ、子どもたちを真の平和を創れる存在へと導きましょう。

「いじめ・体罰アンケート」へのご協力、ありがとうございました!

みなさんからいただいた回答を見ながら、丁寧に確認をし、学校での指導に生かしていきます。また、書かれていた保護者の方にはご連絡をするようにしております。これからも何か心配なこと、気になること等おありでしたら、お知らせください。子どもたち、保護者や地域の方々みんなの笑顔を守っていききたいと思います。

【学校訪問】・・・7月1日(水)

西部教育事務所北部支所や唐津市教育委員会から、支所長・教育長や教育委員をはじめとした先生方が10名ほど学校訪問に来られ、学校の様子を観ていただきました。(これは隔年で実施されているものです。)

まずは、子どもたちの、玄関での自然体で爽やかな朝の挨拶、かかとを揃えて入る靴箱、教室環境の美しさに感動されていました。そして、授業の様子です。子どもたちの真剣な中に楽しんでいる様子、先生方の温かいまなざしや細やかな指導にも感心されていました。同時に授業づくりについては、アドバイスもいただきましたので、これから大いに生かしていこうと思います。それと、学校紹介をした折に、地域の方々の共に子どもたちを育てようという協力体制にも感心されており、これは今後も大事に協働体制を維持してほしいと言われました。ご家庭での教育力や地域の教育力の高さ、教職員の教育に対する熱意が素直な子どもたちの姿に写し出されていることを評価していただきました。

「チーム相知」、自信をもってこれからも共に相知町の宝である子どもたちを育てていきましょう。



7月8日(水)～9日(木)

育友会で計画されています。各地区の危険箇所を再確認し合い、並行して、夏休み前、子どもたちへの安全指導につなげたいと思います。みなさん、ご参加ください。

